

平成28年度定例第3回理事会議事録メモ

期 日 平成29年3月18日(土) 10:00～

場 所 正田醤油スタジアム群馬 会議室

1 開 会 川崎副会長

2 あいさつ 海野副会長

中曽根会長公務のため欠席であるが、28年度最後の理事会である。28年度の行事も無事終了した。リオオリンピックにも塩尻選手が出場することができた。平成40年に、2巡目国体の誘致が決定した。29年度からはモンテローザの選手がヤマダ電機へ加入することになった。29年度も当協会の行事にご協力いただきたい。

3 出席確認 理事総数57名 出席43名、委任9名 計52名

4 報告事項

(1) 日本陸連・関東陸協関係

日本陸連関係

・日本陸連連絡協議会があった。2020年に向けての指針がしめされた。「大人になっても陸上競技を継続して陸上競技を行うよう指導にあたってほしい。各カテゴリで活躍できる選手の指導はもとより、一貫して活動できる環境を整えていってほしい。」との話があった。

・全国会長会議があった。海野副会長が代理で出席をした。「陸上競技場の占有権について、国立の今後の活用の件もあるが、現在の場所以外に拠点となる国立陸上競技場を作ったほうがいいのではないかという意見が出ていた。各都道府県においては、陸上競技場の使用について陸上が優先になるように環境をととのえていただきたい。日本陸連としての今後のビジョンがしめされた。

関東陸協関係

- ・H28年度開催の事業報告があった。
- ・H29年度 12/3関東中学駅伝(前橋市総合)、

NY駅伝関係

・大会としては盛り上がった良い大会であった。また来年の大会に向けて準備を進めていきたい。

(2) 平成28年度各委員会度事業報告(年鑑により説明)

総務委員会

都道府県駅伝祝賀会が実施できた。年鑑が完成したので確認してください。

年鑑305頁参照

財務委員会

28年度決算については、7月の理事会で報告する。

競技運営委員会

別紙で公認大会の申請方法についての資料を配布した。群馬陸協加盟クラブで主催する大会について実施しているクラブはご確認ください。記録の公認については、結果の報告が義務付けられている。H29年度は必ず結果の報告をお願いします。

H29年度から日本陸連が青山と提携して審判員ウエアを販売することになった。必要であればご紹介する。

年鑑307頁以降参照。ルール改正について。4月に開催される伊勢崎リレーカーニバルで審判講習会を開催するので参加してください。

強化委員会

男女都道府県駅伝が開催された。女子13位、男子6位。男子は4年連続である。

年鑑313頁参照。

普及委員会

小学生の普及については、各クラブでお世話になっています。

年鑑316頁参照。ソフトボール投がジャベリックボール投になった。29年度からは、全国大会に出場するためには、選手と同クラブにおいて公認指導者資格を有する指導者がいることが条件になる。

その他

(3) 中体連・高体連

中体連関係

・年鑑79頁から中体連結果を掲載した。29年度も引き続きご協力ください。3月25日(土)に中学混成大会を開催する。29年度については、男子棒高跳の古沢くん、女子長距離の不破さんを軸に強化を進めていく。全国中学校クロスカントリー選手権で前橋七中が優勝した。

高体連関係

・U-18合宿お世話になりました。2月19日のU-20の世界クロカン選手権に、男子は農大二高の西山選手、栗原選手、女子は常磐高の樺沢選手が出場する。29年度も引き続きご協力をお願いします。障がい者記録会、小学生トレセンの実施も予定されている。

(4) その他

5 議長選出 海野副会長就任

6 協議事項

第1号 平成29年度事業計画並びに予算案について 事業計画について(競技運営委員長)

年鑑8~9頁に計画を掲載した。今年度は高専関東信越大会が7月、2国公立26大学大会が9月、関東中学駅伝が12月に開催される。

正田醤油スタジアムの改修が終了した。浜川、伊勢崎、桐生と改修が集中したので、大会会場の変更があったり、制約があったりする。

29年度は、秋季記録会は実施しない。

予算計画について（財務委員長）

別紙で配布した。システムの変更があったので、マイナスの予算書が出ているが、決算は黒字で報告できる。

（富岡：高橋理事）

公認競技会については、小学生が出場するとだめか？

（田中委員長）

オープンであれば小学生、未登録者の出場は、認められる。ロードレースについては、登録者と未登録者を区別している。

（富岡：高橋理事）

年鑑の373頁について、富岡の競技場の表記が違っていると思われる。

（田中委員長）

問題なく使用できるはずである。富岡の競技場の検定が行われる前のデータなのでご容赦いただきたい。

第2号 平成29・30年度群馬陸上競技協会役員について（事務局）

会長 中曽根弘文

学識経験副会長 海野俊彦、平方 亨

理事長 武藤 顕

副理事長 倉林 輝生、永井 正樹、安達 友信

副会長選出クラブ

中毛 前橋市陸協、伊勢崎クラブ

東毛 桐生市陸協 太田市陸協

西毛 高崎市陸協 碓氷クラブ

北毛 渋川クラブ 沼田クラブ

（西毛地区：小林副会長）

副会長も同じ人が長くするのではなく、将来においては、いろいろな方々の選出にすいて検討していただきたいと思う。

対外委員等

県スポーツ協会 評議員 海野

関東陸協 理事 武藤、中村（高体連）

県民大会委員 田中競技委員長

ぐんまマラソン実行委員 武藤

ぐんまマラソン運営委員 倉林、中村

県スポーツ指導者協議会 中村

県障害者スポーツ協会関係

各委員長等は理事長が決める。

第3号 その他

(理事：藤岡) マスターズ登録が18才からの登録ができるようになる。楽しみで陸上をするものがマスターズ登録に流れる気がする。できたら、マスターズ会員登録と、群馬陸協登録について相互に登録できるようなシステムを検討ください。

(事務局) より良い方法を考えていきたいと思います。

7 その他

- ・30年度全日本マスターズ大会が開催される。群馬陸協の審判員協力をお願いしたい。
- ・29年度に高崎市陸協にビックカメラの競歩選手5名が加盟することになる予定である。
- ・審判員手当の配布、年鑑の配布。

8 閉会 小林副会長